

1 川口駅周辺の特長

施設や自然の充実

西口周辺の文化・公共施設、東口周辺の商業・業務施設など、暮らしを支える施設や、豊かな自然環境が充実しています。



川口西公園

子育て・保育環境の充実

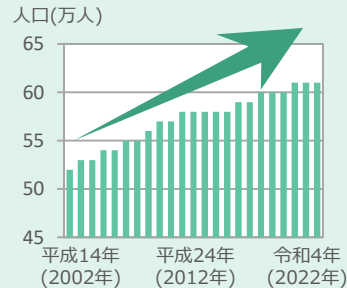
保育施設について、需要等を勘案し、必要な定員を確保しています。

都心へのアクセス性

池袋駅まで16分、東京駅まで25分と都心へのアクセスが優れています。

人口の増加

令和4年(2022年)3月1日時点で市内人口約60.5万人であり、若年世帯を中心に人口増加が続いています。



本市の人口の推移

「住みやすいまち」として評価



本ビジョンの詳細版は川口市ホームページで公開しています。

Kawaguchi
Eki-Machi
Work-Life Mix

川口駅周辺 まちづくり ビジョン

概要版

～住みやすいまちを超えて～

川 口 市
048-258-1110 (市役所代表)

2022年(令和4年)3月
川口市

2 川口駅周辺の主な課題

「住みやすいまち」として評価される一方で、新型コロナウイルスの流行等を契機として、居住者や通勤者の利便性・安全性向上等の観点からさまざまな解決すべき課題が生じています。

移動の円滑性・快適性の不足

- ・ 駅東西口を往来する経路が限定的
- ・ 川口駅と川口元郷駅間の歩道の幅員が不足 他



駅前に相応しい機能の不足

- ・ 多様な働き方を支える機能が不足
- ・ 川口西公園と文化施設との連携が不足 他



オープンスペースの活気不足

- ・ 希少な駅前大規模公園である川口西公園について、多様な活動を誘発する仕掛けが不足 他



鉄道機能・交通結節点機能の不足

- ・ 乗り入れ路線が1つしかない
- ・ 東口駅前広場のバス停が分散している 他



3 まちづくりの方向性

「住みやすいまち」を超えて、働き、憩い、文化・芸術に親しめるまちとして発展することで、「住み続けたいまち」・「さらなる選ばれるまち」へ

回遊性

駅や各拠点が有機的に繋がったウォークラブルなまちの実現



- ・ 駅東口・西口間の回遊性の向上
- ・ 歩行者の移動の円滑化と気軽に休憩できる緑陰空間の創出



他

都市機能

まちなか居住の推進とテレワークの場や文化・芸術に親しめる場等の整備



- ・ 多様な働き方や暮らし方を実現できる新たな都市機能の導入
- ・ 文化・芸術・産業を活かす育てるための場の創出



他

オープンスペース

多様な活動を許容・誘発するためのオープンスペースの創出



- ・ オープンスペースの恒常的な利活用に向けた、キッチンカーの設置等の試験的な取り組みの実施



他

交通

鉄道輸送力の増強と駅前広場の交通結節機能の向上



- ・ 鉄道輸送力の増強
- ・ 各交通手段間の乗り継ぎの円滑化に向けた駅前広場の機能向上



他

4 優先的に取り組むプロジェクト

緊急度と効果が高いプロジェクトを5つ設定し、約10年後までを目安に、関係者と協議を重ねながら、実現に向けた取り組みを進めていく予定です。

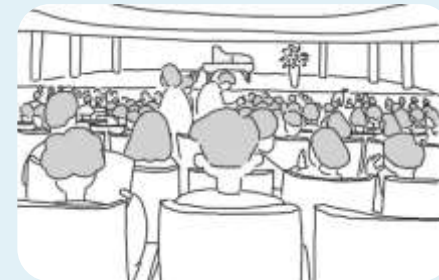
Project 1 交通拠点リニューアルプロジェクト

駅前周辺の交通基盤の再編や
駅機能の強化等、交通結節
機能の充実を図るとともに、
これからの働き方、暮らし方
を先導し、市内各拠点に波及
させるまちづくりを行います。



Project 4 多目的文化芸術拠点整備プロジェクト

文化・芸術・コンベンション
機能等を含む多目的文化芸術施設
を整備します。
その実現にあたり、西口における
文化施設の集積、東口の賑わいの
創出の観点から、適切な機能配置
を図ります。



Project 2 公園等リノベーションプロジェクト

賑わいの創出等に向けて、川口西公園や
並木元町公園等において試験的な取り組み
を行います。



Project 3 六間通り線機能・魅力向上プロジェクト

駅間を繋ぐ六間通り線の乗り継ぎ環境を
改善するとともに、快適で魅力的な
沿道空間を創出します。



Project 5 まちなか再生プロジェクト

再開発等の推進によりウォーカブルな
まちづくりを進め、まちなかの機能と
賑わいの再生を図ります。



川口駅 周辺 マップ



凡例	
	主要な回遊動線 (デッキレベル)
	主要な回遊動線 (地上レベル)
	ペDESTリアンデッキ
	都市機能
	公園や広場等
	公園や広場等 (景観又は活動拠点)
	低未利用地
	交通軸
	駅前広場
	景観形成ゾーン
	視点場
	緊急輸送道路